

平成26年度 文化芸術関連事業
中間報告書（4月～9月）

平成26年度文化芸術事業報告書(第19回図書館まつり)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進 ・読書活動に関する興味関心を深める ・図書館を身近に感じてもらう 			
日時	4月19日(土)～20日(日)	会場	サンフレアこが	
来場者		参加者	181人	
内容	<p>「古賀東小学校ぐりとぐらの会のおはなし会」</p> <p>内 容 講師によるネルシアターや大型紙芝居等を実施</p> <p>日 時 4月19日(土) 11時～11時45分</p> <p>講 師 古賀東小学校ぐりとぐらの会</p> <p>参加者 子ども24人 大人18人 合計42人</p>			
	<p>「世界でひとつだけのしおりをつくろう」「かんたんえほんづくり」</p> <p>内 容 色画用紙や絵はがきのイラストやシール、色鉛筆などを使ってしおりや絵本を作成。</p> <p>日 時 4月19日(土) 14時～15時30分</p> <p>参加者 子ども22人 大人15人 合計37人</p>			
	<p>「やってみよう！子ども科学実験」</p> <p>内 容 福岡教育大学人材バンク出前講座を利用して、子ども科学実験およびショーを開催。</p> <p>日 時 4月20日 14時～15時</p> <p>講 師 福岡教育大学 理科教育講座 教授 伊藤 克治 氏 (福岡教育大学出前講座のため講師料は無料)</p> <p>会 場 サンフレアこが 2階視聴覚室</p> <p>参加者 子ども64人 大人38人 合計102人</p>			
	「国際アンデルセン賞受賞日本人作家作品展」(図書館内展示)			
	「雑誌リサイクル」(サンフレアこが1階ロビー)			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「古賀東小学校ぐりとぐらの会」によるおはなし会では、パネルシアターや大型紙芝居など多彩なプログラムが組まれていた。 ・しおり作りやかんたんえほん作りコーナーでは、色画用紙や絵はがきのイラストやシール、色鉛筆などを用意したところ、思いのほか時間いっぱい制作を楽しんでいる姿が見受けられた。 ・館内展示では、国際アンデルセン賞を受賞した日本人作家の作品を展示し、子どもから大人まで本を手にしてもらい、興味関心を深めることができた。 ・子ども科学実験では、たくさんの家族連れが身近に科学に親しむことができた。 			
課題	・更なる読書活動の推進のため、広い周知を行う必要がある。			
H25年度決算額		H26年予算額		
講師謝礼 10,000円		11,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	10,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)10,000円
9旅費	01費用弁償		1,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)1,000円
合計			11,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(芸術祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。 ・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。 			
日時	下記のとおり	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	2148人	参加者	芸能 61人 芸術 78人	
内容	古賀市で活動している師範クラスの芸術家の舞台発表や、特別ゲストとしてプロの演奏家を招いた、グレードの高い芸術・芸能の発表会。			
	5月18日(日) 10時～	芸術祭 (舞台芸能)	1476人	プロおよび師匠クラスの舞台発表
	5月16日(金) ～18日(日) 10時～17時	芸術祭 (芸術)	672人	師匠クラスの作品展示
成果	<p>【芸能部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演団体等の意見を参考にして、プログラム作成やリハーサルが出来た。 ・延べ1,500人の来場者があり、アンケート結果においても年々質が向上しているとの意見が多かった。 ・出演者、司会者、業者、スタッフの連携がうまくいき、トラブルなく終わることが出来た。 ・会場スタッフの指導もあってか、来場者のマナーも年々よくなってきている。 <p>【芸術部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去のアンケート結果や、反省を踏まえレイアウトを工夫し、展物館の距離を広くし、見やすくなった。 ・天井照明だけでなく、スポット照明も使用したため、遠近感と明るさが出た。 			
課題	<p>【芸能部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の来場者が多いが、演目ごとの観客数は少ない。 →特に、開演時と終演時の観客が少なく、広報活動あるいはその他の方策により、来場者数を増やす努力が必要である。 ・年々来場者のマナーは向上しつつあるが、それでも演技中に移動する来場者や私語をする来場者がいる。 →声かけなどを続け、更なるマナーアップに努める必要がある。 <p>【芸術部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬入時間の変更が必要。 →前日までに展示パネル設営を完了し、設営時間を短縮することで、搬入者の待ちを解消できる。 ・出展者や出演者の高齢化や、出展数の減少傾向がみられる。 ・来場者は増加傾向にあるが、芸能部門に対し少ない。 →広い周知を行い、来場者を増やす努力が必要。 			
H25年度決算額		H26年予算額		
750,000円		700,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	700,000	文化芸術振興事業委託事業(芸術祭) 700,000円
合計			700,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(読書ボランティア入門講座)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進 ・読書活動に関する興味関心を深める ・図書館を身近に感じてもらう 		
日時	6月6日(金)、27日(金) 10時30分～12時20分	会場	サンフレアこが
来場者		参加者	63人

内容	<p>「第1回 読書ボランティア入門講座」 初心者向けの絵本の読み聞かせの基礎や学校での読書ボランティアの心構えについての講座。 絵本の選び方、持ち方、学校の朝の読書などでの短い時間のプログラムの立て方のコツ、記録をとることの重要性などについて講義いただいた。</p> <p>日時 6月6日(金) テーマ 「絵本の読み聞かせと読書ボランティアの心構え」 講師 上村 篤子 氏 参加者 40人</p>		
	<p>「第2回 読書ボランティア入門講座」 内容は おはなし会の導入に使える手袋人形「からすの親子」の作成と実演の指導。</p> <p>日時 6月27日(金) テーマ 「おはなし会の小道具づくり～手袋人形をつくりましょう～」 講師 古賀市立図書館布の絵本ボランティア「つくしんぼ」 参加者 23人</p>		

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせの実演を交えながら、絵本の選び方、持ち方、学校の朝の読書などでの短い時間のプログラムの立て方のコツ、記録をとることの重要性等について実践的な内容について学ぶことが出来た。 ・講師に年齢別の絵本のリストも用意していただき、明日からすぐにでも実践できる内容で参加者にも好評だった。 ・人形の作成・実演が初めての受講生が多いなか、講師の皆さんのわかりやすい指導のもと、時間内にそれぞれの個性あふれるからすの親子を仕上げる事が出来、演じるコツの練習もすることができた。 ・アンケートでも、今後ぜひ学校などで演じてみたいとの声も多く聞かれ、おはなし会や読み聞かせのレパートリーの広がりの一助となったのではないかと考える。 		
----	---	--	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる読書ボランティア支援の充実を図る必要がある。 		
----	--	--	--

H25年度決算額	H26年予算額
講師謝礼 50,000円 託児謝礼 43,578円	50,000円

予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	20,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)20,000円
8報償費	01報償費	01託児謝礼	30,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)30,000円
合計			50,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(企画展)

目的	特撮美術監督として日本が世界に誇るミニチュア技術の礎を築いた古賀市薦野の出身の井上泰幸氏の生涯と功績を紹介する。			
日時	平成26年7月18日(金)～8月31日(日)	会場	サンフレアこが ギャラリー	
来場者	5,090人	参加者		
内容	<p>総合監修: 三池敏夫(特撮美術監督)</p> <p>展示内容</p> <p>①泰幸氏のおいたち／原点は郷土にあり(医師家庭に生まれた泰幸少年を育んだ郷里古賀の自然と人情)</p> <p>②夫婦の絆／創作活動を共有した芸術家のあゆみ(アルミ彫刻作家の妻と互いを認め支えあった夫婦愛)</p> <p>③作業場再現／ゆるぎない創作活動の源泉(特美仲間や若手技術者が集う感動と喜びをもたらす活動拠点)</p> <p>④井上泰幸氏から生まれたもの／信念の人、井上泰幸の作品世界へようこそ!!(本物の再現にすべてをかけた人生。世界を驚かせた特撮ミニチュア、円谷英二特技監督を支えた映画美術デザイナーの作品世界)</p> <p>◎井上氏及びご家族等の関連写真・資料、製図机等製作関連の遺品、絵コンテ原画・設計図等作品・ジオラマ・造作物等、夫人のアルミ彫刻作品などを展示。</p> <p>入場無料 リーフレット作成(PR、来場者に配布)</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・特撮美術の先駆けとして活躍された郷土出身の先人の生涯と功績を紹介できた。 ・遺族からの遺品の寄贈、展示作品として貴重な設計図原図や絵コンテ原画を提供いただいたことで来場者は作品を直に観覧し、特撮美術の世界をより身近に鑑賞することができた。 ・新聞各紙、テレビ・ラジオなど多くのマスメディアを通じて情報発信でき、市民はもとより県内外から延べ5,090人の来場を得た。 ・企画展に合わせて、市民サイドで関連イベント事業実行委員会が組織され、ワークショップやトークショー、映画上映会が催され、市民の力によって盛り上げていただいた。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・寄贈いただいた遺品の保管と今後の活用方法。 ・作品展示、映像や音響の取り扱いについては著作権使用料との関連が生じる。今後、同種の事業を行う場合は、より詳細な計画作りが必要と思われる。 			
H25年度決算額		H26年予算額		
409,259円		1,431,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
賃金	臨時雇		216,000	賃金206,382円、通勤費8,910円
報償費	報償費	企画展謝礼 スタッフ謝礼	250,000	企画展謝礼200,000円 スタッフ謝礼50,000円(1,000円×50人日)
需用費	消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費	198,000	消耗品費120,000円 リーフレット印刷78,000円
役務費	通信運搬費	通信運搬費	11,000	作品搬送11,000円
委託料	その他委託料	企画展委託	756,000	企画展委託756,000円
合計			1,431,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(おはなし会スペシャル)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進 ・読書活動に関する興味関心を深める ・図書館を身近に感じてもらう 			
日時	7月20日(日) 14時～15時	会場	サンフレアこが	
来場者		参加者	173人	
内容	<p>内 容 古賀市内6つの地域文庫で活動している皆さんによる、群読や大型絵本の読み聞かせやストーリーテリングや人形劇等を行った。</p> <p>参加者 子ども 48人 大人 42人</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文庫連絡会のなかで打ち合わせをしたことにより、全体的にバランスがとれた構成となった。 ・夏休みの最初の日曜日の催しとして、子どもたちが読書に親しむきっかけになった。 ・プログラムの幕間に原作の絵本の紹介と併せて地域文庫のパネルの紹介も行うことにより文庫活動への関心が深まった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる地域文庫との連携の強化と、地域文庫への支援を行っていく必要がある。 			
H25年度決算額			H26年予算額	
25,000円			30,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	30,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)30,000円
合計			30,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(市民音楽祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市の文化芸術振興に寄与し、クオリティ・公益性の高い企画・運営を行う団体を支援する。 ・市民とプロが交流する機会を設け、文化芸術活動の活性化を図る。 			
日時	平成26年7月27日(日) 13時～	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	641人(内招待93人、関係者45人)	参加者		
内容	<p>内容 市民が一流の音楽にふれる機会をふやすことを目的とし、手軽な料金でプロの演奏を鑑賞できます。さらに、古賀市民であればもっと安くなるお得なコンサート。</p> <p>出演者 中 孝介 氏、ミサンガ、チキンナゲッツ 市民参加:ユカリクラシックバレエ</p> <p>前売り (市外):3,500円≪42人≫ (市内)2,500円≪329人≫ (市内割引)2,000円≪122人≫ 当日 (市外):4,000円≪ 8人≫ (市内)3,500円≪ 2人≫ ※身障者・高校生のみ500引き</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・例年に比べて、10代～40代までの来場者が増加した。出演者によって、若い層にもアプローチが出来ることがわかった。 ⇒≪昨年:10代(0%)20代(0%)30代(1%)40代(8%)50代(15%)60代(43%)70代(29%)80代(4%)≫ ⇒≪今年:10代(3%)20代(3%)30代(6%)40代(9%)50代(13%)60代(36%)70代(25%)80代(5%)≫ ・市民参加の「ユカリクラシックバレエ」が、元ちとせさんの曲に合わせて創作ダンスを披露し、プロの歌・演奏に劣らないほどで、大変好評だった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当日高音の部分で楽器の音にボーカルの音が負けてしまい、聞こえなかった。リーパスプラザの音響設備では調整が限界だといわれたので、今後はCDでOKな出演者など、工夫する必要がある。 			
H25年度決算額		H26年予算額		
1,500,000円		1,500,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金補助及び交付金	4補助金	1文化芸術事業補助	1,500,000	文化芸術振興事業補助(市民音楽祭) 1,500,000円
合計			1,500,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(古典文学講座)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進 ・読書活動に関する興味関心を深める ・図書館を身近に感じてもらう 			
日時	9月7日(日)、14日(日)、21日(日) 10時10分～12時10分	会場	サンフレアこが	
来場者		参加者	173人	
内容	<p>内 容 百人一首の歌人たちの人生や、藤原家をはじめ貴族・皇室の権力争いなど、その当時の時代背景や歴史の裏側などを講話。</p> <p>講 師 重松 裕巳 氏 (熊本県立大学名誉教授)</p> <p>参加者 第1回 61人 第2回 55人 第3回 57人</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・その当時の時代背景や歴史の裏側などをわかりやすく話をしていただき、百人一首の奥深さをあらためて知ることができた。 ・参加者のみなさんから、楽しく学ぶことができたとの声も寄せられ、古典文学への関心がより深まった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の固定化がみられるので、より広い周知を行い、幅広い年代、層に参加していただきたい。 			
H25年度決算額			H26年予算額	
講師謝礼 60,000円 費用弁償 4,920円			65,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	60,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)60,000円
9旅費	01費用弁償		5,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)5,000円
合計			65,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(プロムナードコンサート)

目的	・プロの演奏を野外で気軽に聞ける機会を提供し、音楽に対して興味関心を深めるとともに、古賀市の文化度のクオリティの向上を図る。 ・子どもと一緒に参加できるコンサートを意識し、子育て世代が文化芸術に触れる機会を提供する。			
日時	9月27日(土) 18時30分～20時20分	会場	クロスパルこが 駐車場	
来場者	約660人(内スタッフ19人)	参加者		
内容	内 容 高水準なプロの演奏を誰でも気軽に立ち寄って聴くことができる野外コンサート。入場無料。 受託者 株式会社 イベントシンク プロモーション 出演者 New Wings ・ The Flying Elephants			
成果	・新しい来場者の掘り起こし →来場者数は昨年度より減少したが、アンケートには「こんなコンサートを開催しているなんて知りませんでした」「初めて来場しました」「初鑑賞でした」等意見があり、新しい来場者の掘り起こしが出来たのではないかと考える。 ・クロスパルこがのPR →アンケートより「41年間で初めてこの場所を知った」という意見や、出演者からも「知らなかった。素晴らしい施設ですね」等意見があり、市内外に施設のPRを図れたと考える。 ・来場者の少ない地域へのアプローチ →今年度の会場選定の際の判断材料となった「青柳、小野校区の来場者の少なさ」に関して、来場者全体に対する青柳、小野校区からの来場者の比率は昨年度よりどちらの校区もわずかに上昇し、「青柳校区:昨年度(4%)今年度(9%)」「小野校区:昨年度(2%)今年度(3%)」という結果になった。 ・子育て世代が子どもと参加しやすいコンサート →目的の一つである「子どもと一緒に参加できるコンサートを意識し、子育て世代が文化芸術に触れる機会を提供する」という面では、アンケートには、「小さいお子さんも遊ぶスペースがあり、また全く静かにしていなくても気にならない」との意見もあり、目的の達成が図れたと考える。 ・全体的な評価 →全体を通しての評価としては、アンケート結果より「また来場したい」という意見が「97%」を占め、好評であったことが伺える。			
課題	・立ち寄りにくい →本来の「プロムナードコンサート」は、「誰でも通りすがりに立ち寄れる気軽なコンサート」であるべきだが、今回の会場はそういったことが難しい場所であった。アンケートでも、「場所が遠くて行きにくい」「歩いてでもいけるところがいい」等意見や、「リーパスプラザでやってほしい」との要望が多数あった。 ・交通機関の不便さ →駅が近くになく、バスの本数も少ないため、古賀駅から送迎バスを運行せざるえない状況にあったが、利用者が少なかった。結果として、車で来場者が多く、駐車場となっていたコスモス館駐車場、グリーンパーク駐車場からも距離や坂道等があったためシャトルバスの運行が必要となり、バスの台数が足りず、社会福祉協議会のバスや、篠栗観光のバスを借用する結果となった。 ・クロスパルこがの利用者への配慮不足 →今回、ステージ周辺となるクロスパルこが入り口付近をバスや人が多く行きかうため、入り口前駐車場の制限をかけたが、周知が遅かったためクロスパル利用者には伝わっていなかった。また、クロスパルこがの第1駐車場は会員のみ利用可としていたが、コンサート来場者が駐車したりとマナー違反があり、会員駐車場が満車となったため、制限していた駐車場も開放せざるをえなかった。 ・会場周辺の暗さ →「アンケートが書きづらかった」「駐車場で足元が悪く、つまづいてしまった」等意見があがった。 →以上の課題解決のためには、会場の変更が必要であると考え。要望が多かったリーパスプラザで行う場合は、来年度は大ホールをつり天井工事のため、10月中旬からしか使用できない。また、バス運行をしなければならないような会場になれば、当日の関わる職員の数も増え、負担になるので、駅から歩いていける、また交通の便もよく通りすがりでも気軽に立ち寄れる場所での開催を検討していく必要がある。			
H25年度決算額		H26年予算額		
1,445,000円		1,510,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1報償費	31スタッフ謝礼	10,000	文化のまちづくりの会 1,000円×10人
13委託料	5その他委託料	2野外音楽講演委託	1,500,000	音楽振興事業委託事業一式
14使用料及び賃借料	8車借上料	1車借上料	54,000	シャトルバス借用料 大型1台
合計			1,564,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(コスモックスまつり)

目的	・青少年の居場所として音楽スタジオやダンススタジオを備えている児童センターで、その利用者が自発的にイベントを開催することにより、日頃の成果の発表及び交流の場とする。			
日時	平成26年9月28日 15時～18時	会場	千鳥児童センター (コスモックス)	
来場者	児童センター利用者、利用者OB、 出演者の関係者(保護者や友人)等 174人 (小学生 30人、中学生 6人、 高校生 59人、一般 19人)	参加者	出演者 60人	
内容	千鳥児童センターを利用している高校生バンドやダンスチームが実行委員会を組織して、音楽やダンスの発表を行ない、上演の間には来場者が参加できるゲーム(〇×クイズ、じゃんけん大会など)を実施。 企画、準備、進行を利用者が行い、児童センタースタッフは裏方として支える。			
成果	・複数の高校(竟館高校、玄界高校、新宮高校など)や児童センターOB、小中学生が集い、交流が図れた。 ・初心者から熟練者まで、発表の場を設けることで、自尊心を高めることにつながることを期待される。 ・利用者の企画により実施されるイベントであるため、満足度が測れる。			
課題	・利用者が対象であるため、閉鎖的な印象があるが、会場は飽和状態。 ・利用者の意思により実施の有無が決定するため、スタッフの働きかけが必要。			
H25年度決算額			H26年予算額	
12,313円			15,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11需用費	1消耗品費	1消耗品費	15,000	消耗品費
合計			15,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:市民オーケストラ)

目的	・幼い子どもからお年寄りまで出来るだけ多くの市民の方や、日ごろ生のオーケストラ演奏になじみのない方に低料金で古典の名曲に接していただき心の安らぎと感激を提供したい。			
日時	6月14日(土) 15時～	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	193人	参加者		
内容	演奏曲目 シュトラウス「皇帝円舞曲」、ハイドン「トランペット協奏曲、ベートーベン「交響曲第6番田園」他 入場料 前売り:1,000円 当日:1,200円 高校生以下無料			
成果	・練習の参加率も上げ、全体の力量も上がり、「感動した」「また来たい」との意見をいただいた。 ・新たな一般会員申し込みが11件あった。			
課題	・入場者数が少なく、市の広報、文化協会広報、一般新聞等を通じてもっと周知させる必要がある。 ・一部の曲について、演奏がまずく来場者から大いなる非難を受けた。 ・身障者への案内は施設への文書で出したが、案内が遅く入場者数は0だった。 ・小中高生徒の来場者目標数は100人だったが48人で目標達成できなかった。			
H25年度決算額			H26年予算額	
			437,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会 437,000円 夏休みこども体験教室 212,000円 古賀市第九演奏会 409,000円 演劇ワークショップ「悠久の風」 500,000円
合計			1,594,000	

平成26年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:古賀市文化協会)

目的	・古賀市内の子どもたちに、文化芸術を体験してもらうことで、文化芸術に対する興味・関心を引き出す。				
日時	7月23日(水)～8月9日(土)		会場	リーパズプラザ 大ホール	
来場者			参加者	444人	
内容	日程	教室名	対象	定員	申込数
	中止	盆踊り教室	小・中学生	10	0
	8月2日(土) 8月9日(土)	ヒップホップダンス教室	4歳～小3 小3～中3	20	22
	7月25日(金) 8月2日(土)	スポーツダンス教室	小・中学生	20	9
	7月24日(木) 7月25日(金)	バレエ教室	4歳～小3 小4～中3	40	29
	7月31日(木) 2回	フラダンス教室	幼児～高校生	20	27
	7月24日(木) 7月31日(木)	詩吟教室	小・中学生	10	1
	7月25日(金) 7月31日(木)	理科教室	小学校高学年～中学生	12	11
	7月29日(火) 7月30日(水)	童謡教室	小・中学生	10	9
	8月2日(土)	オカリナ教室	小3以上	40	7
	7月24日(木) 7月25日(金)	お琴教室	小・中学生	10	26
	7月24日(木) 8月7日(木)	リトミック教室	1歳～4歳の未就園児の親子	10	11
	7月29日(火) 7月31日(木)	ゆかた教室	小・中学生 (小1～3は付き添い必要)	10	7
	8月5日(火) 8月8日(金)	お茶教室(150円)	小・中学生	40	25
	7月30日(水) 7月31日(木)	パン教室(300円)	小・中学生	20	56
	7月23日(水) 7月24日(木)	家庭科教室(500円)	小学校高学年～中学生	15	14
	7月24日(木) 7月25日(金)	工作教室	小学生	30	32
	7月25日(金) 8月5日(火)	日本伝統文化教室	小・中学生(保護者も可)	10	3
	8月7日(木) 8月8日(金)	絵画教室(500円)	小学生	10	26
	7月30日(水) 7月31日(木)	書道教室	幼稚園年長～小学生	40	30
	7月23日(水) 7月30日(水)	押し花教室(300円)	小学生	10	27
	7月30日(水) 7月31日(木)	囲碁教室	小学生	40	41
	7月29日(火) 7月30日(水)	ブリザード教室(500円)	小学生	20	31
	成果	・参加者にかなり好評で、先生方からも「文化芸術に興味を持ってもらえた」との意見が挙げられた。 ・キャンセル待ちが出るほどの反響で、参加者、講師ともに初めての体験が多く、貴重な機会となった。			
課題	・講座によって申し込み数にばらつきがあり、来年度以降は講座内容を再検討する必要がある。 ・講座申込み日を平日に設けていたが、来年度は土日のいずれかに申込日を設定したい。				
H25年度決算額			H26年予算額		
			212,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会	437,000円
				夏休みこども体験教室	212,000円
				古賀市第九演奏会	409,000円
				演劇ワークショップ「悠久の風」	500,000円
合計			1,594,000		